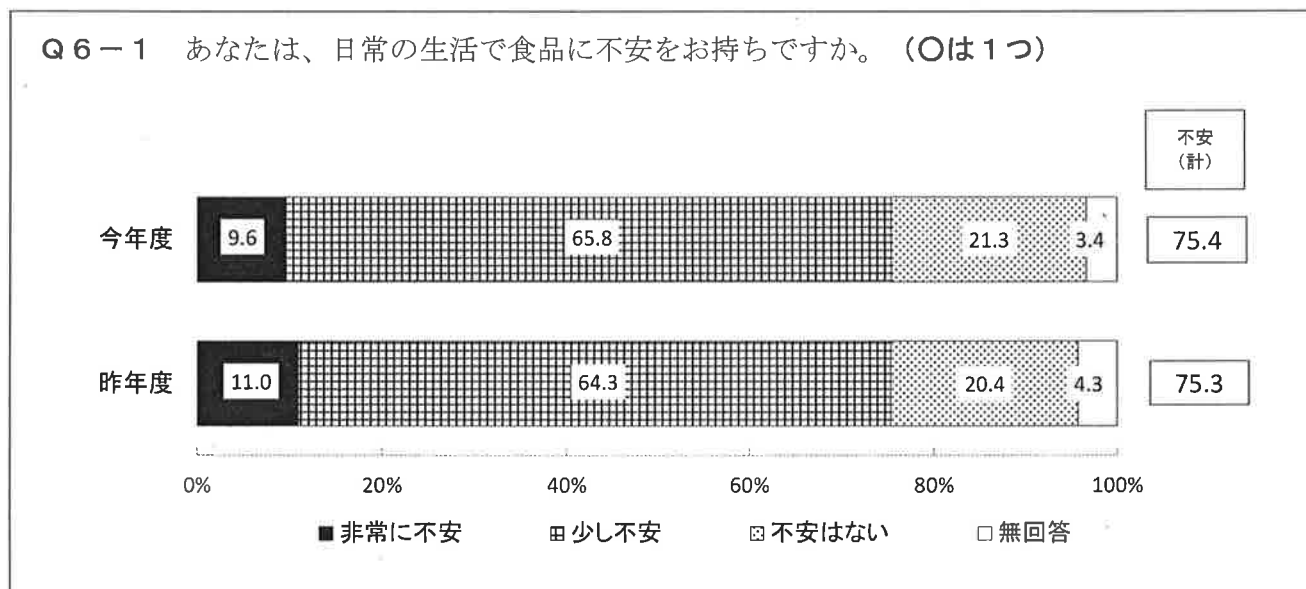


6. 食の安心・安全について

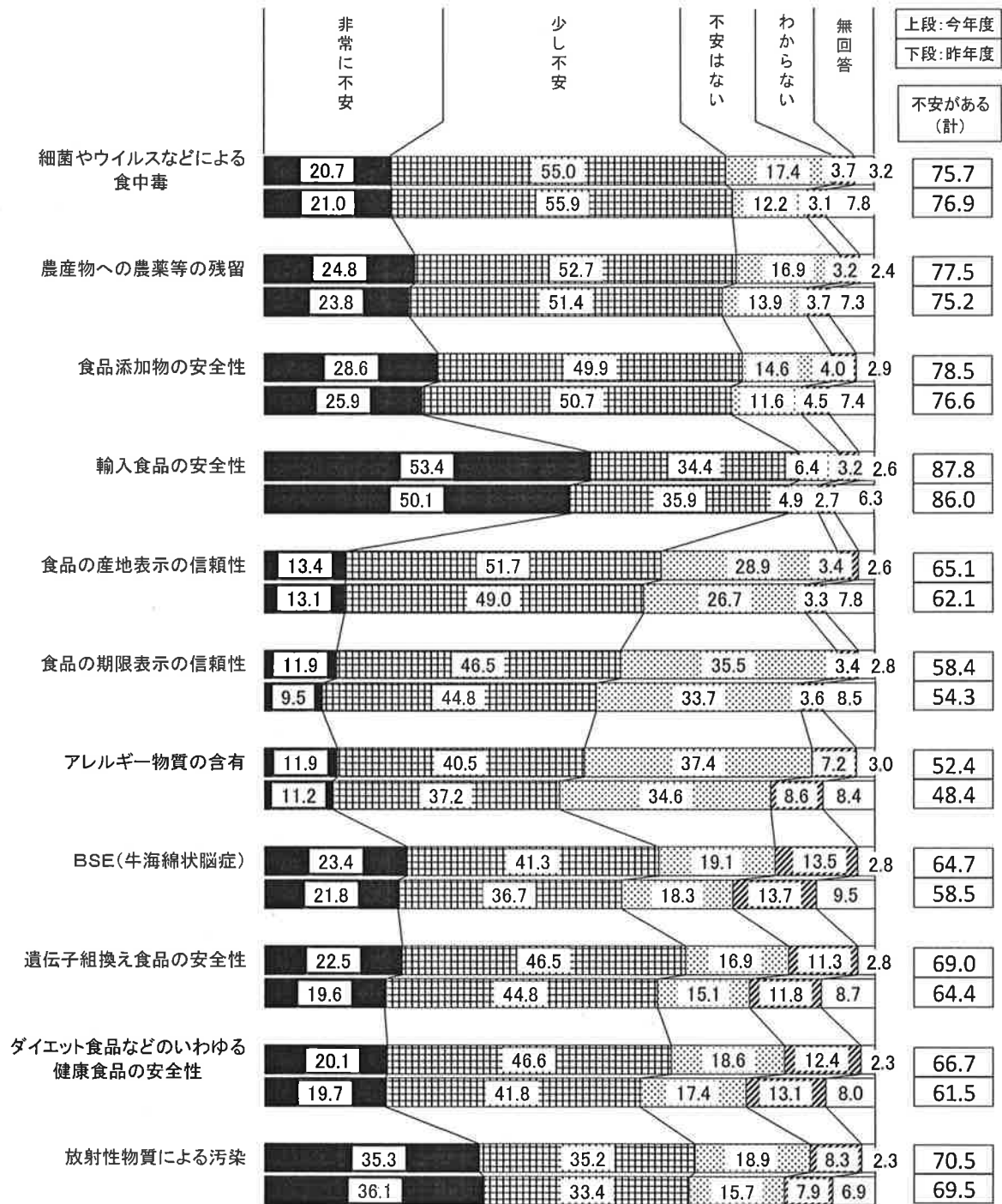
6-1. 食品に対する不安



食品に対する不安について、「非常に不安」と「少し不安」を合わせた『不安(計)』は75.4%と7割を超えている。昨年度と比較すると、大きな差はみられない。

6-2. 食品に対する不安の要因

Q6-2 あなたは食品について、どのようなことに不安をお持ちですか。
 いずれか1つを○で囲んでください。(○はそれぞれ1つずつ)

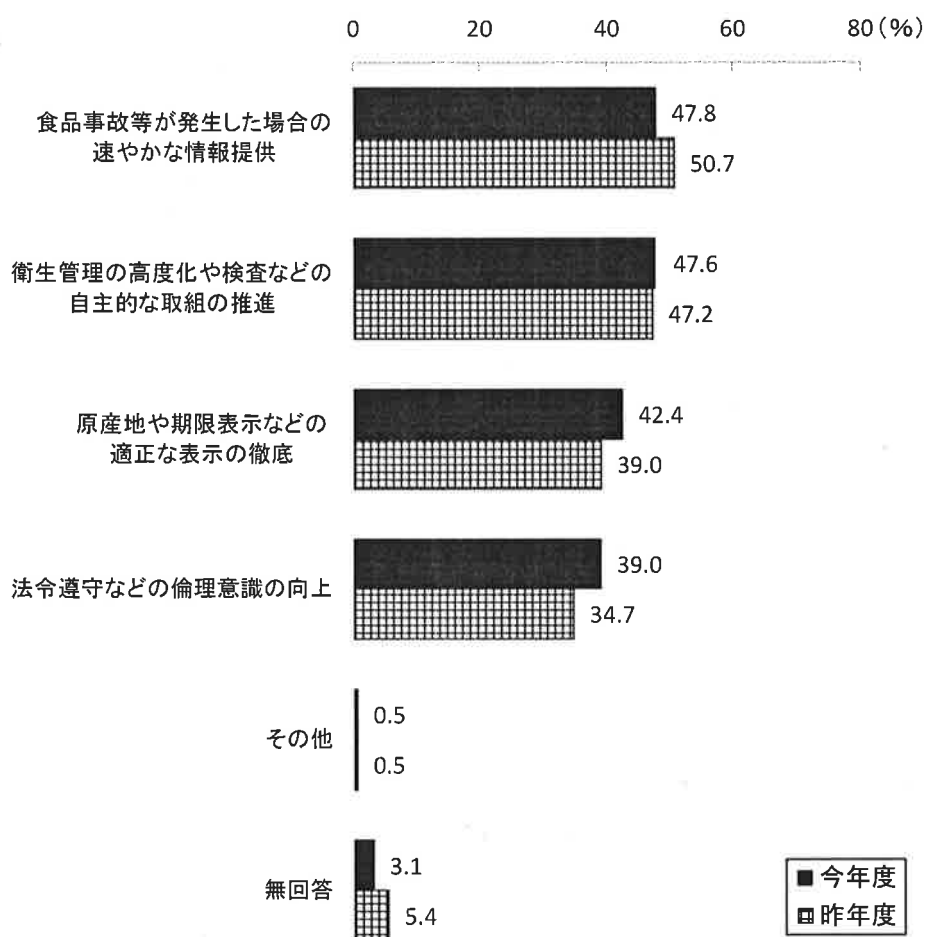


食品に対する不安の要因について、「非常に不安」と「少し不安」を合わせた『不安(計)』は、「輸入食品の安全性」で87.8%と最も高くなっている。昨年度と比較すると、「細菌やウイルスなどによる食中毒」(75.7%)以外、すべての項目で『不安(計)』が上昇している。

6-3. 安全で安心な食生活を送るために必要な取組

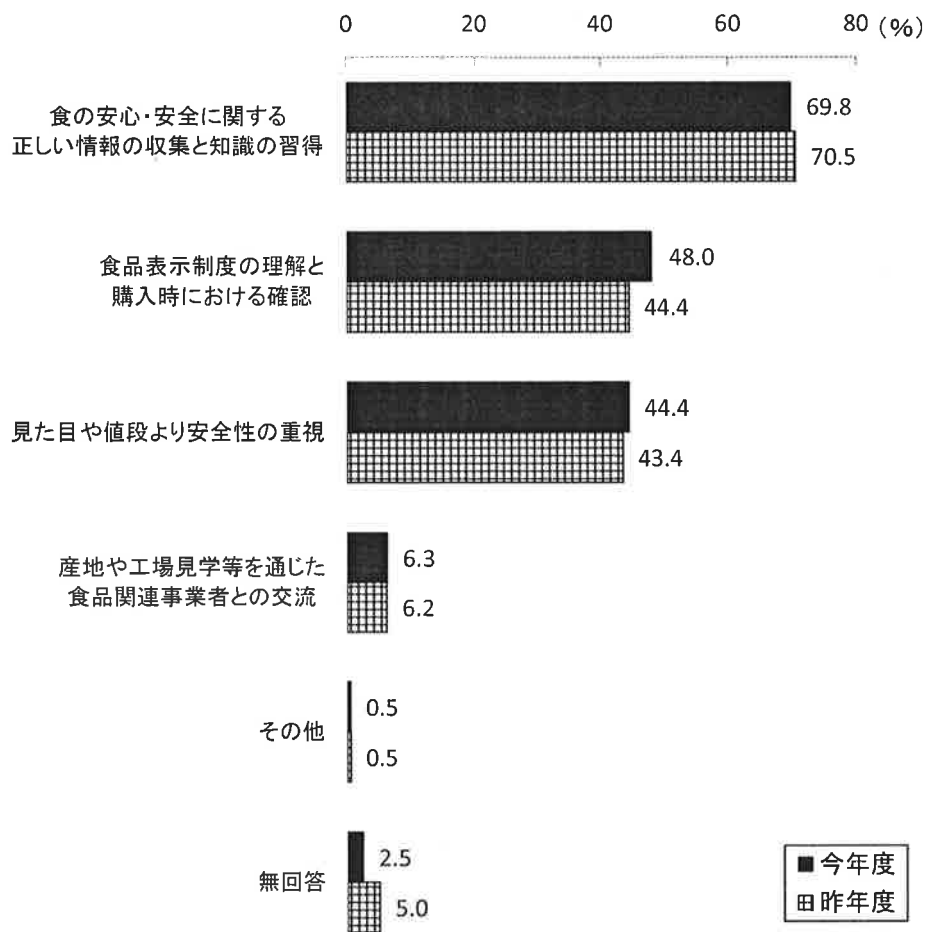
Q6-3 あなたは、県民が安全で安心な食生活を送るために、「食品関連事業者（生産者、製造・加工者、販売者）」、「消費者」、「県」は、それぞれどのような取組が必要だと思いますか。

(1) 食品関連事業者に望む取組（〇は2つまで）



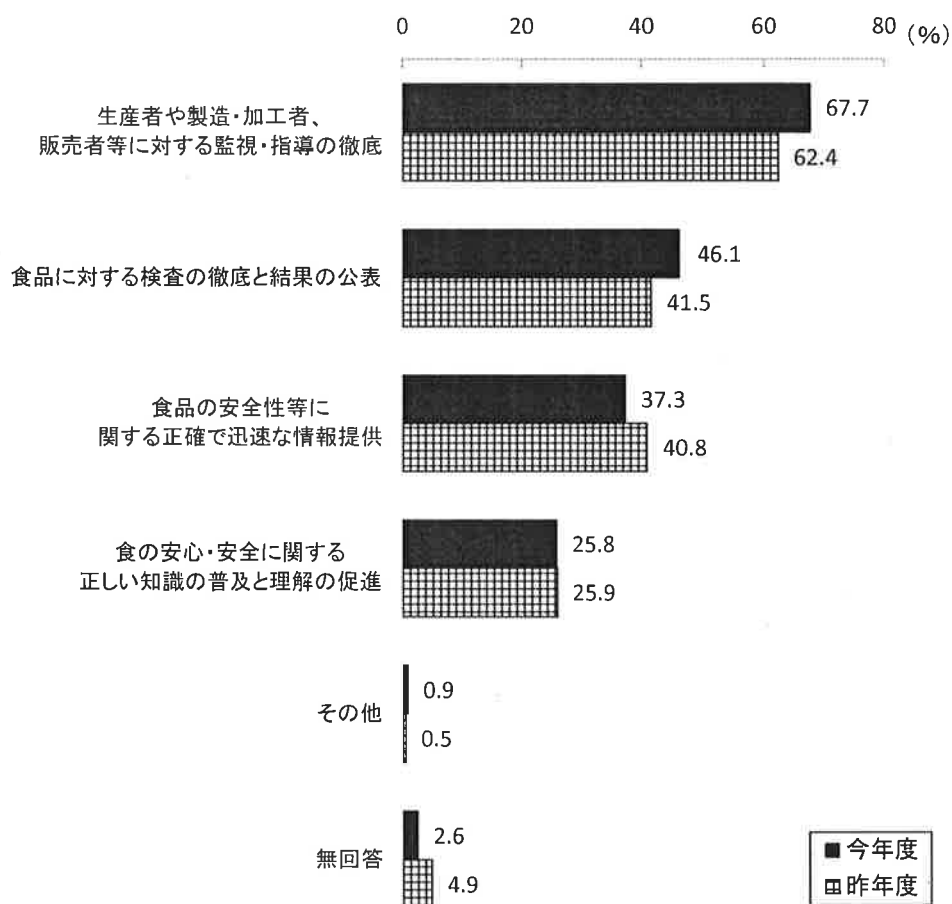
安全で安心な食生活を送るために「食品関連事業者」に望む取組について、「食品事故等が発生した場合の速やかな情報提供」が47.8%と最も高く、次いで「衛生管理の高度化や検査などの自主的な取組の推進」(47.6%)、「原産地や期限表示などの適正な表示の徹底」(42.4%)、「法令遵守などの倫理意識の向上」(39.0%)の順となっている。昨年度と比較すると、「食品事故等が発生した場合の速やかな情報提供」が2.9ポイント低下し、「法令遵守などの倫理意識の向上」が4.3ポイント上昇している。

(2) 消費者に必要な取組 (〇は2つまで)



安全で安心な食生活を送るために「消費者」に必要な取組について、「食の安心・安全に関する正しい情報の収集と知識の習得」が69.8%と最も高く、次いで「食品表示制度の理解と購入時における確認」(48.0%)、「見た目や値段より安全性の重視」(44.4%)、「産地や工場見学等を通じた食品関連事業者との交流」(6.3%)の順となっている。昨年度と比較すると、「食品表示制度の理解と購入時における確認」が3.6ポイント上昇している。

(3) 県に望む取組 (〇は2つまで)



安全で安心な食生活を送るために「県」に望む取組について、「生産者や製造・加工者、販売者等に対する監視・指導の徹底」が67.7%と最も高く、次いで「食品に対する検査の徹底と結果の公表」(46.1%)、「食品の安全性等に関する正確で迅速な情報提供」(37.3%)、「食の安心・安全に関する正しい知識の普及と理解の促進」(25.8%)の順となっている。昨年度と比較すると、「生産者や製造・加工者、販売者等に対する監視・指導の徹底」が5.3ポイント上昇している。